

# 2017年3月期第2四半期 決算説明会

荏 原 (6361)

2016年11月11日



# 1. 決算概要

執行役  
経理財務担当

長峰 明彦

# 2. 今期の見通し

代表執行役社長

前田 東一

# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 サマリー

(単位：億円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減
受注高	2,427	2,241	186
売上高	2,070	1,919	151
営業利益	46	26	19
経常利益	38	2	41
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	4	18

為替レート  
(平均)

1ドル = 120.1円

1ドル = 102.3円

本資料において「1Q」は3ヶ月累計期間、「2Q」は6ヶ月累計期間、「3Q」は9ヶ月累計期間、「4Q」は12ヶ月累計期間を示しています。またこのページ以降、特別な記載がない限り、数値の単位を『億円』で表示しています。

# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 事業セグメント別

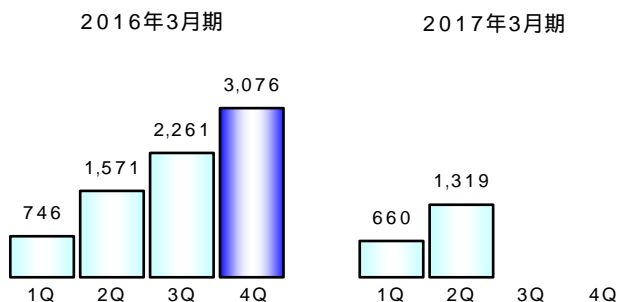
	受注高			売上高			営業利益		
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	増減	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	増減	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	増減
風水力事業	1,571	1,319	252	1,387	1,174	213	18	49	30
エンジニアリング事業	348	333	15	257	270	+ 13	14	17	+ 3
精密・電子事業	498	580	+ 81	417	466	+ 48	47	54	+ 7
その他調整	8	8	0	8	8	0	3	3	+ 0
合計	2,427	2,241	186	2,070	1,919	151	46	26	19

# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 事業セグメント別

### 風水力事業

#### 受注高



#### 【受注高】

- ✓ 前年同期に好調だった海外カスタムポンプの反動減
- ✓ コンプレッサ・タービン事業の顧客の投資判断遅れは継続

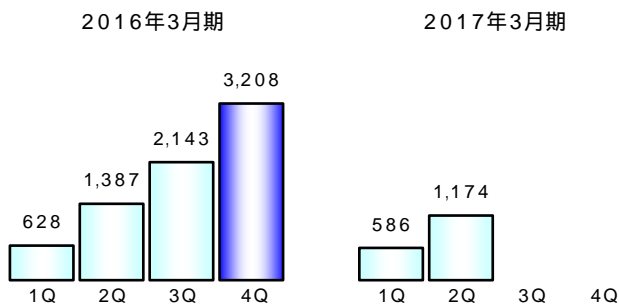
#### 【売上高】

- ✓ 円高により減収

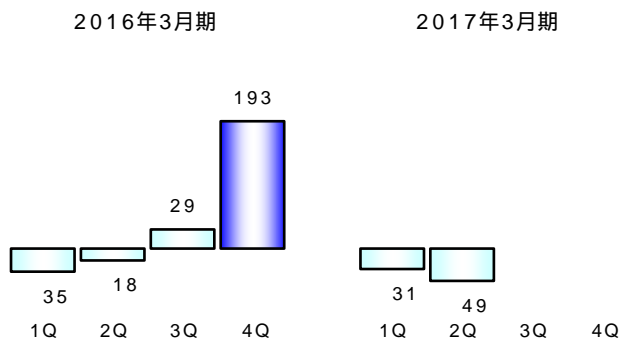
#### 【営業利益】

- ✓ 主にコンプレッサ・タービン事業での減収 (-)
- ✓ サービス&サポートの売上構成比は上昇 (+)
- ✓ 円高による影響 (-)

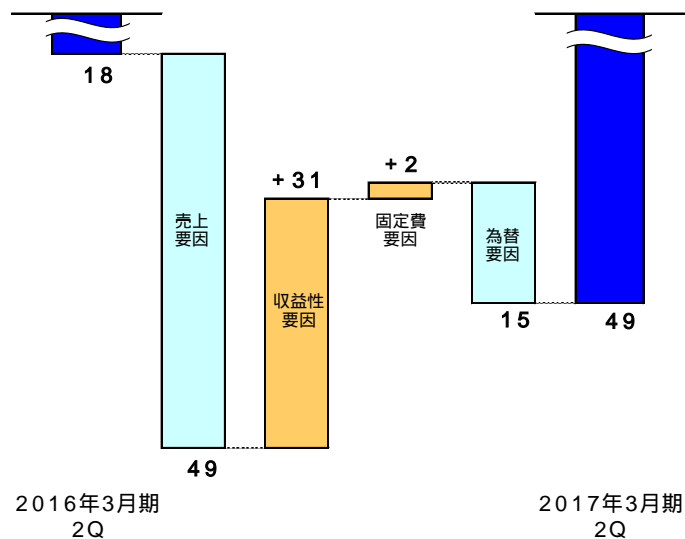
#### 売上高



#### 営業利益



#### 増減要因分析

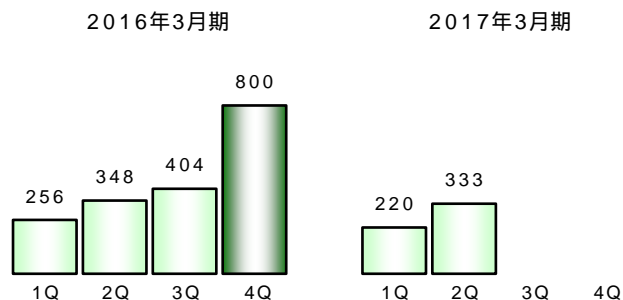


# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 事業セグメント別

### エンジニアリング事業

#### 受注高



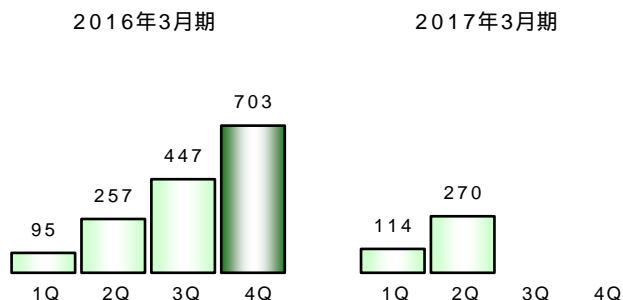
#### 【受注高】

✓ 上期は低調も例年並み

#### 【売上高】

✓ 主にEPCの売上が増加（完工1件）

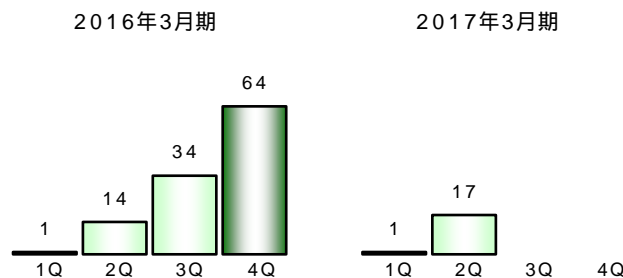
#### 売上高



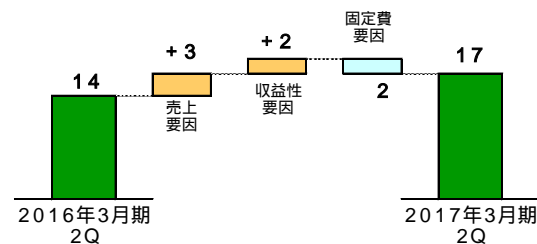
#### 【営業利益】

✓ 増収により増益（+）

#### 営業利益



#### 増減要因分析

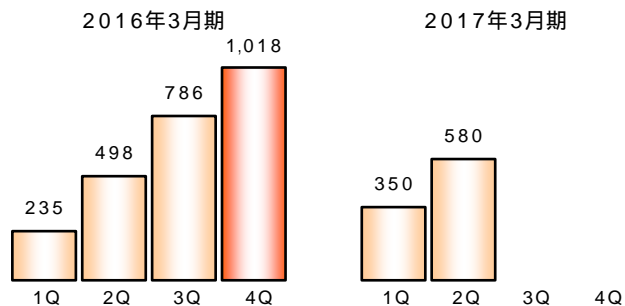


# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 事業セグメント別

### 精密・電子事業

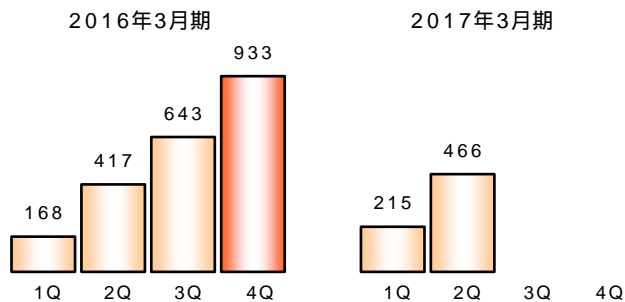
#### 受注高



#### 【受注高・売上高】

- ✓ 半導体市場の設備投資は堅調に推移
- ✓ 特にCMP事業が好調

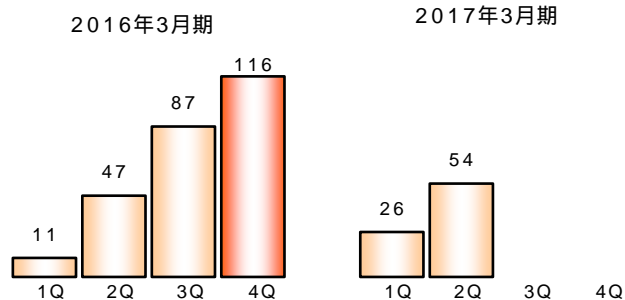
#### 売上高



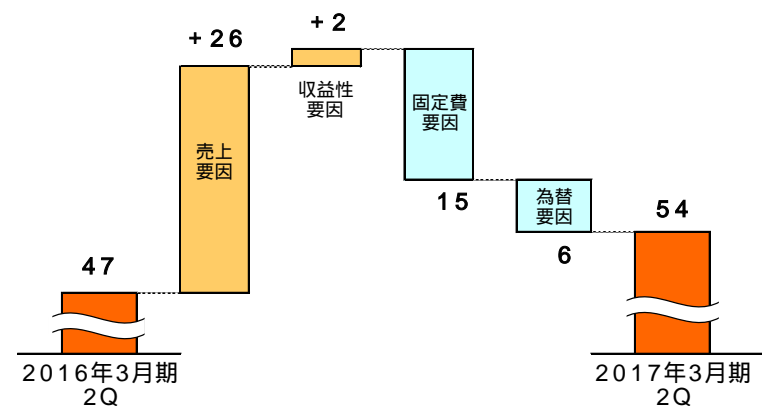
#### 【営業利益】

- ✓ 増収効果 (+)
- ✓ 研究開発費を中心に固定費が増加 (-)
- ✓ 円高効果 (-)

#### 営業利益

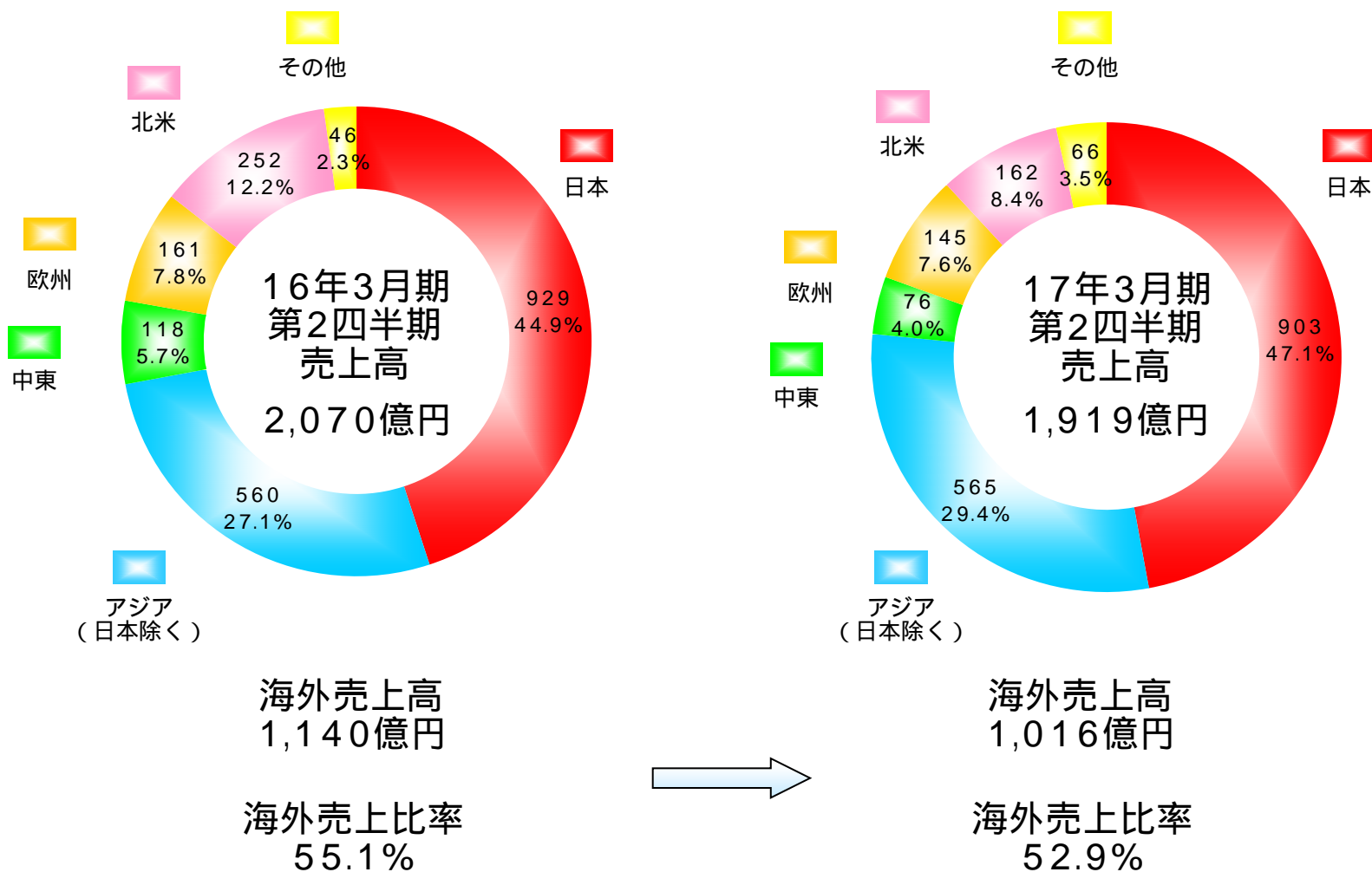


#### 増減要因分析



# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 地域別売上構成

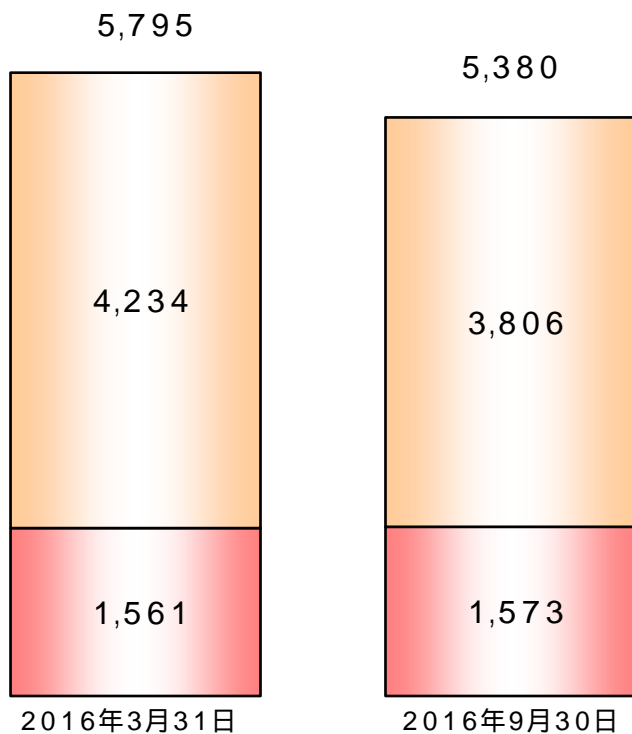
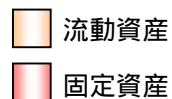




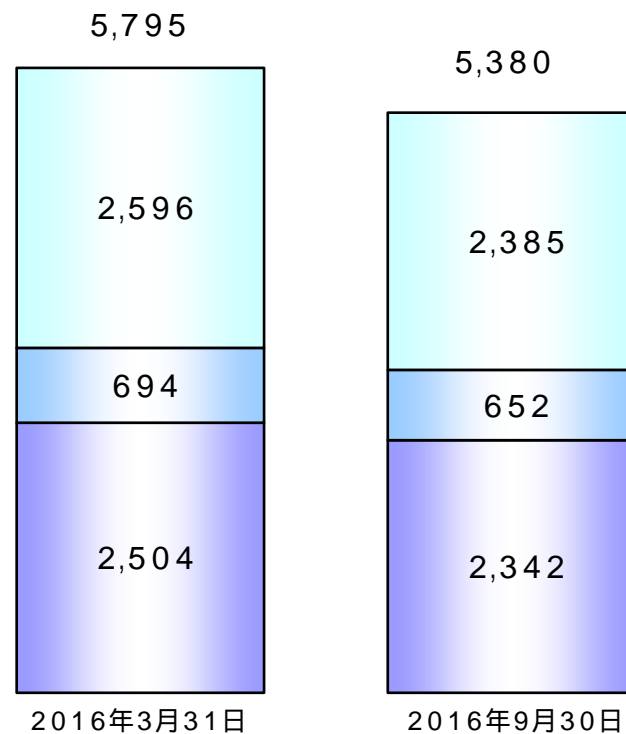
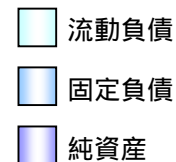
# 1. 決算概要

## 2017年3月期第2四半期決算 貸借対照表

### 資産



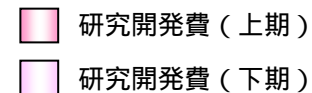
### 負債/純資産



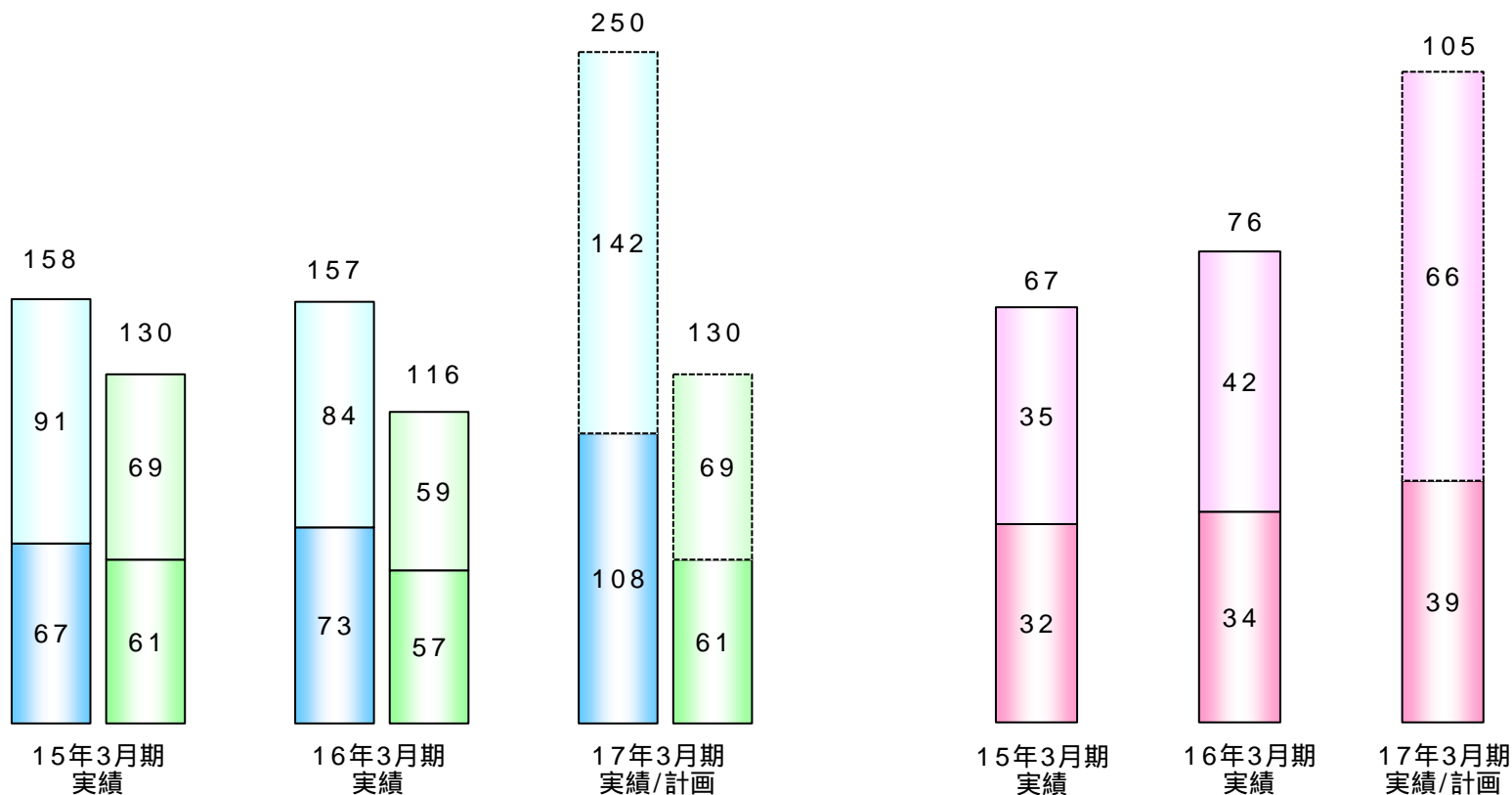
### 資本的支出・減価償却費



### 研究開発費



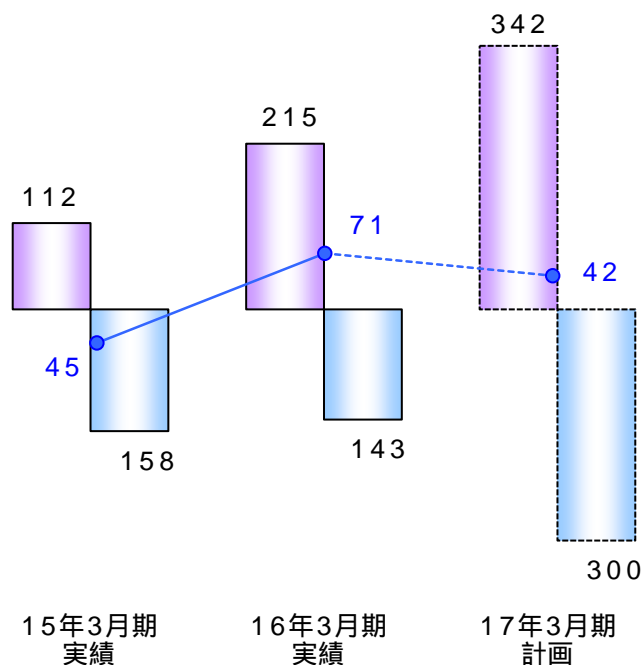
( 期初計画から ) 変更なし



### キャッシュ・フロー

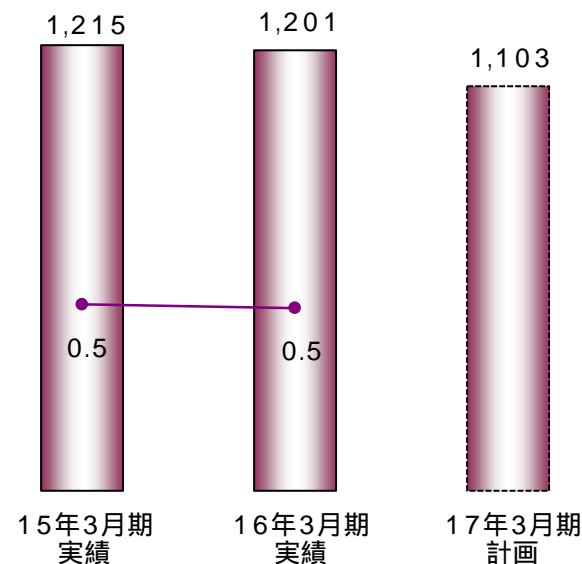
- 営業活動キャッシュ・フロー
- 投資活動キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

( 期初計画から ) 変更なし

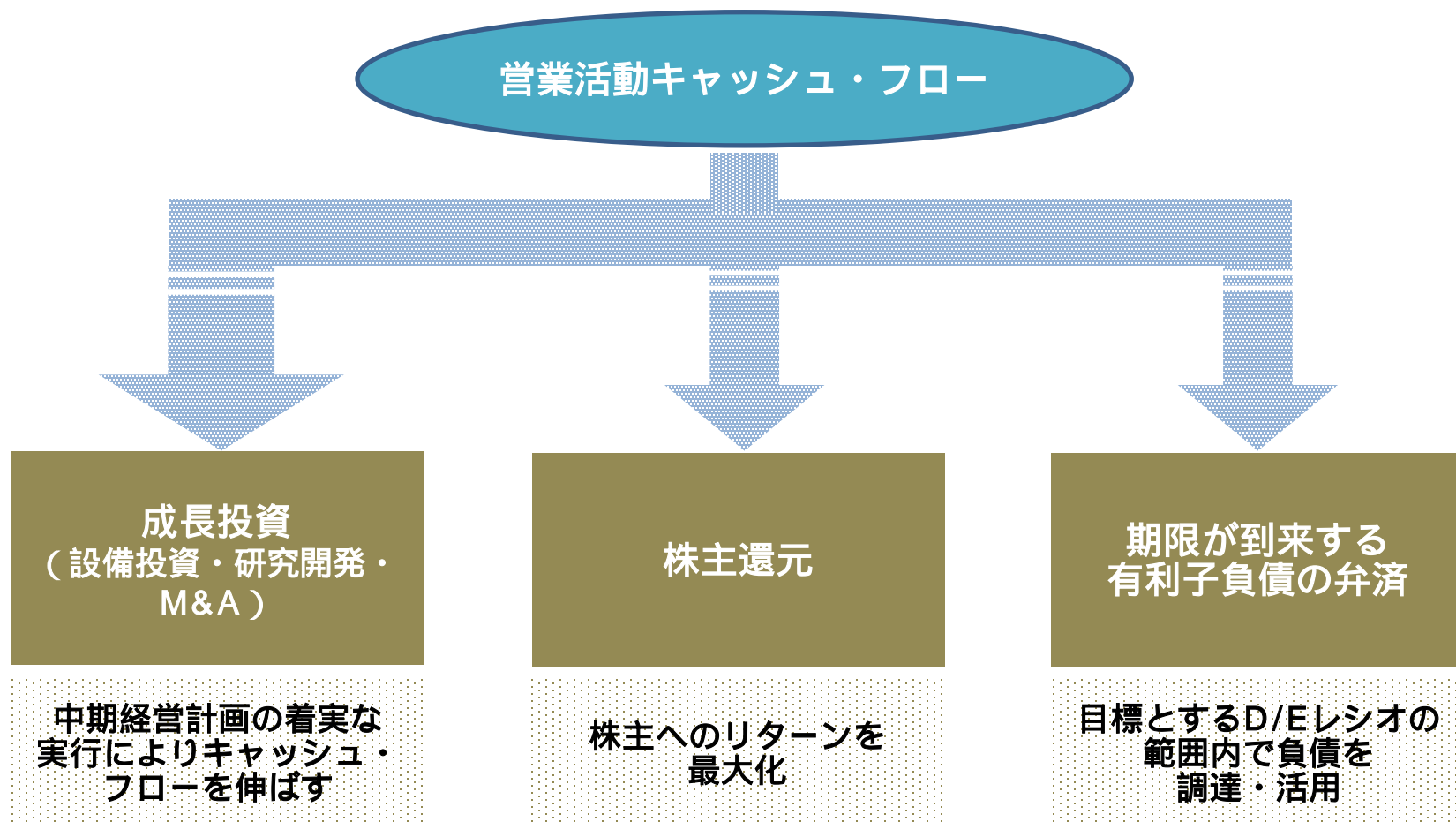


### 有利子負債残高

- 有利子負債
- D/Eレシオ ( 倍 )



## 財務運営方針について



D / E レシオ 0.4 ~ 0.6倍

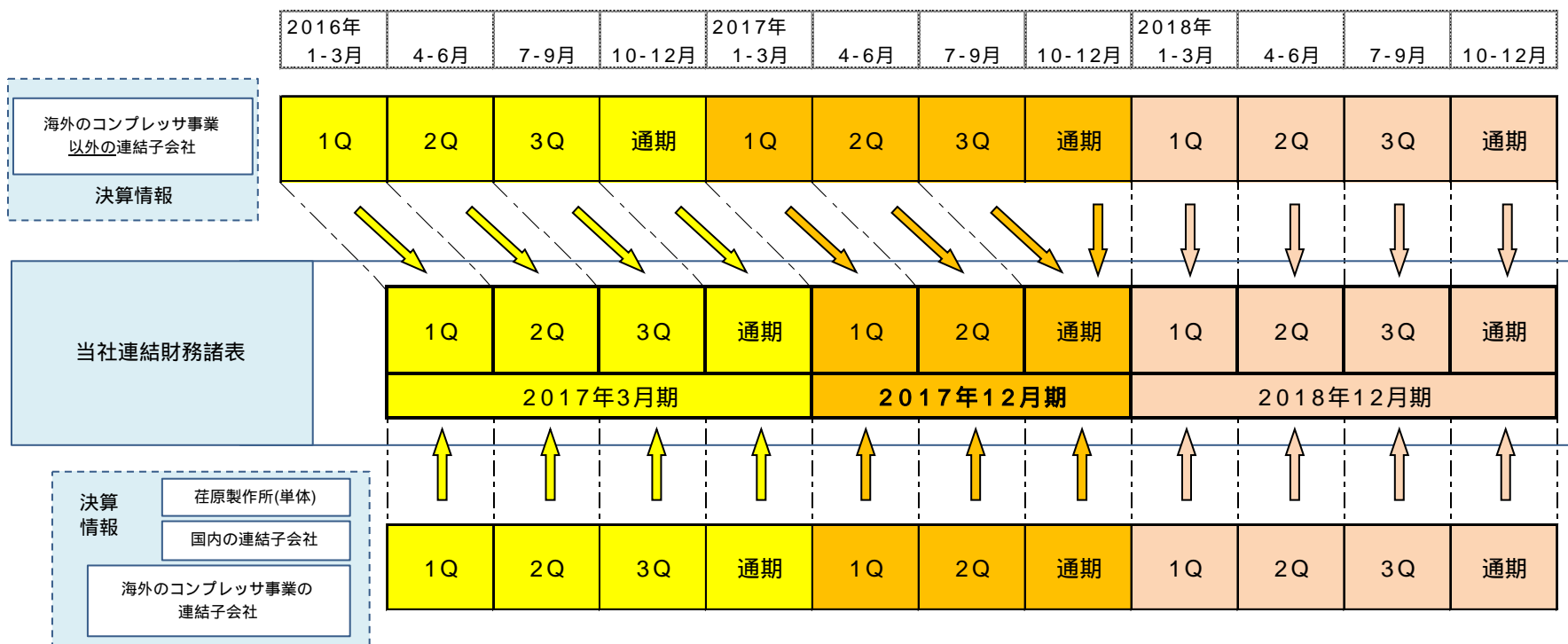
バランスシートの健全性の維持により成長戦略を担保するとともに  
株主還元、資本効率の向上を両立させることで企業価値向上を図りたい

# 1. 決算概要

## 決算期変更について

2016年10月12日開示 「決算期(事業年度の末日)の変更に関するお知らせ」

- ✓ 2017年6月下旬に開催予定の定時株主総会での承認を条件として、決算期を変更する
- ✓ 当社の決算期および連結決算期は、3月末から12月末に変更
- ✓ 当社および連結子会社のうち、決算期が3月末の会社は12月末に変更
- ✓ 経過期間となる2017年12月期は、2017年4月1日から12月31日までの変則9カ月決算となる予定



## 2. 今期の見通し

### 2017年3月期 業績見通し

	2016年 3月期 (実績) (A)	2017年 3月期 (期初計画) (B)	2017年 3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
受注高	4,912	5,000	5,000		+ 87
売上高	4,862	4,800	4,800		62
営業利益	380	370	370		10
経常利益	364	365	355	10	9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	172	210	210		+ 37

為替レート

1ドル = 115.8円  
(平均)

1ドル = 105円  
(想定)

1ドル = 105円  
(想定)

## 2. 今期の見通し

### 業績見通し 事業セグメント別

		2016年3月期 (実績) (A)	2017年3月期 (期初計画) (B)	2017年3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
風水力事業	受注高	3,076	3,200	3,080	120	+ 3
	売上高	3,208	3,100	3,030	70	178
	営業利益	193	180	170	10	23
エンジニアリング事業	受注高	800	800	800		0
	売上高	703	700	700		3
	営業利益	64	70	70		+ 5
精密・電子事業	受注高	1,018	980	1,100	+ 120	+ 81
	売上高	933	980	1,050	+ 70	+ 116
	営業利益	116	120	130	+ 10	+ 13
その他調整	受注高	16	20	20		+ 3
	売上高	16	20	20		+ 3
	営業利益	5	0	0		5
合計	受注高	4,912	5,000	5,000		+ 87
	売上高	4,862	4,800	4,800		62
	営業利益	380	370	370		10

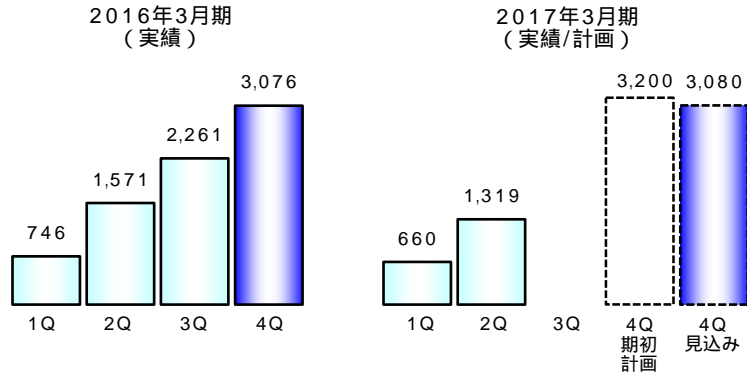
## 2. 今期の見通し

# 2017年3月期決算見通し 事業セグメント別

### 風水力事業

(期初計画からの変更) <受注・売上・営業利益>

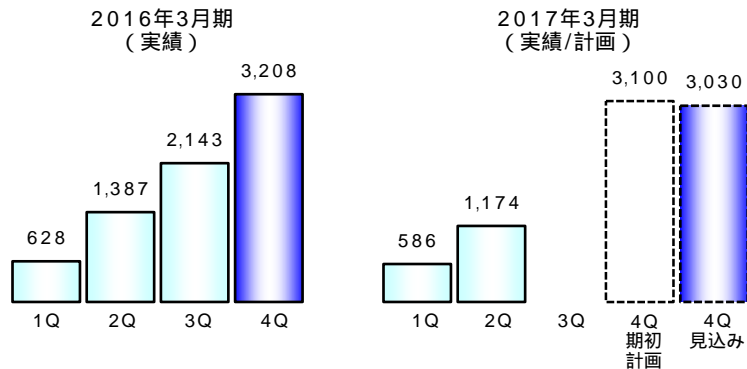
#### 受注高



#### 【受注高】

✓ 海外カスタムポンプの需要が石油・ガス市場を中心に弱含む

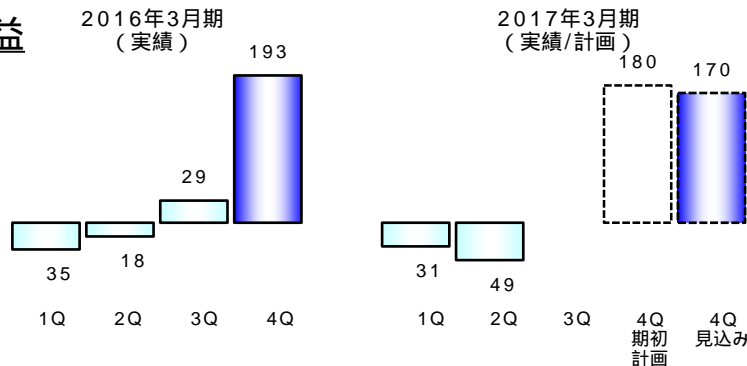
#### 売上高



#### 【売上高】

✓ ポンプ事業の上期受注実績が低調であり  
期初計画を下方修正

#### 営業利益



#### 【営業利益】

✓ 売上の減少影響は各種コストコントロール策で対応



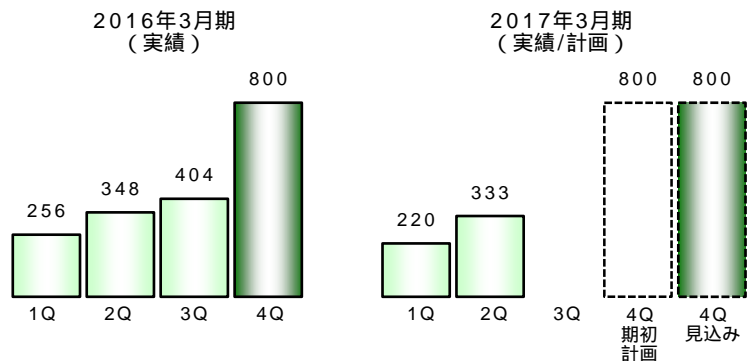
## 2. 今期の見通し

# 2017年3月期決算見通し 事業セグメント別

### エンジニアリング事業

(期初計画からの変更) なし

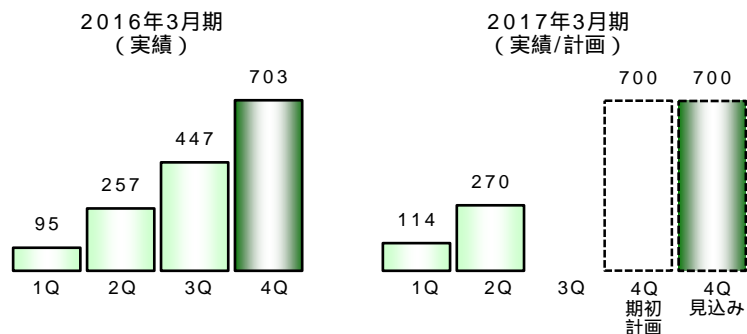
#### 受注高



#### 【受注高】

- ✓ 当社の強みを活かせるDBO案件を中心に確実に受注していく

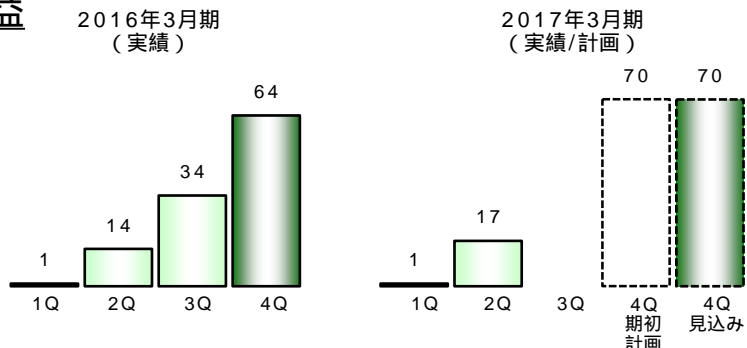
#### 売上高



#### 【売上高】

- ✓ 手持ちのEPC案件について工事進捗は順調

#### 営業利益



#### 【営業利益】

- ✓ O&M事業を中心とした安定した収益構造

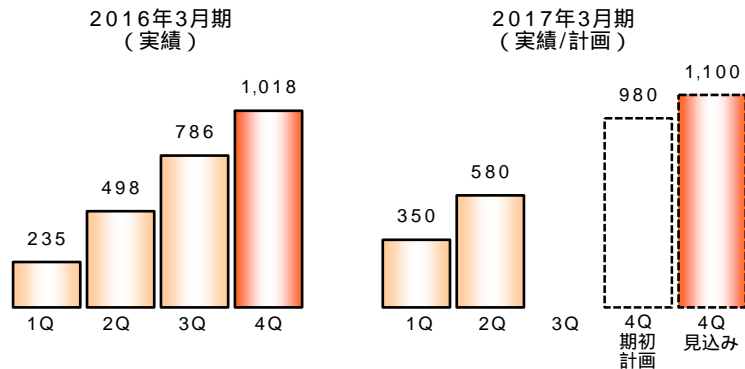
## 2. 今期の見通し

# 2017年3月期決算見通し 事業セグメント別

### 精密・電子事業

(期初計画からの変更) <受注・売上・営業利益>

#### 受注高



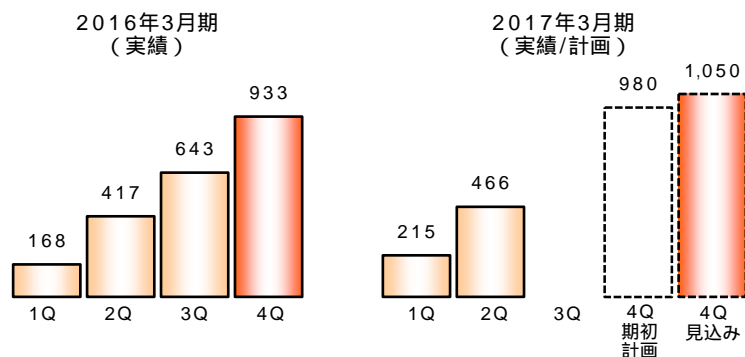
#### 【受注高、売上高】

- ✓ 主要顧客の積極的な投資意欲は変わらず
- ✓ CMPの受注予想を大きく上方修正

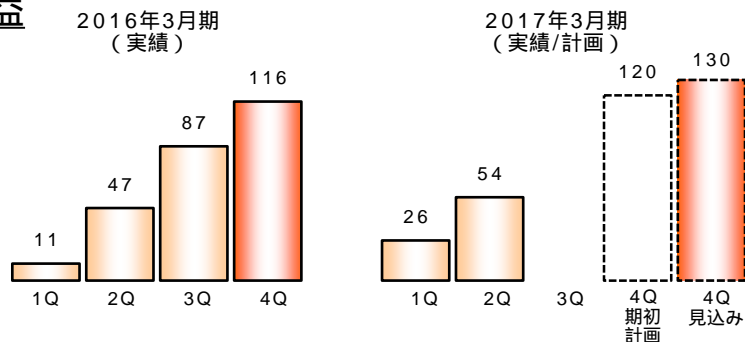
#### 【営業利益】

- ✓ 今期も4Qに集中する売上計画を確実に達成する

#### 売上高



#### 営業利益



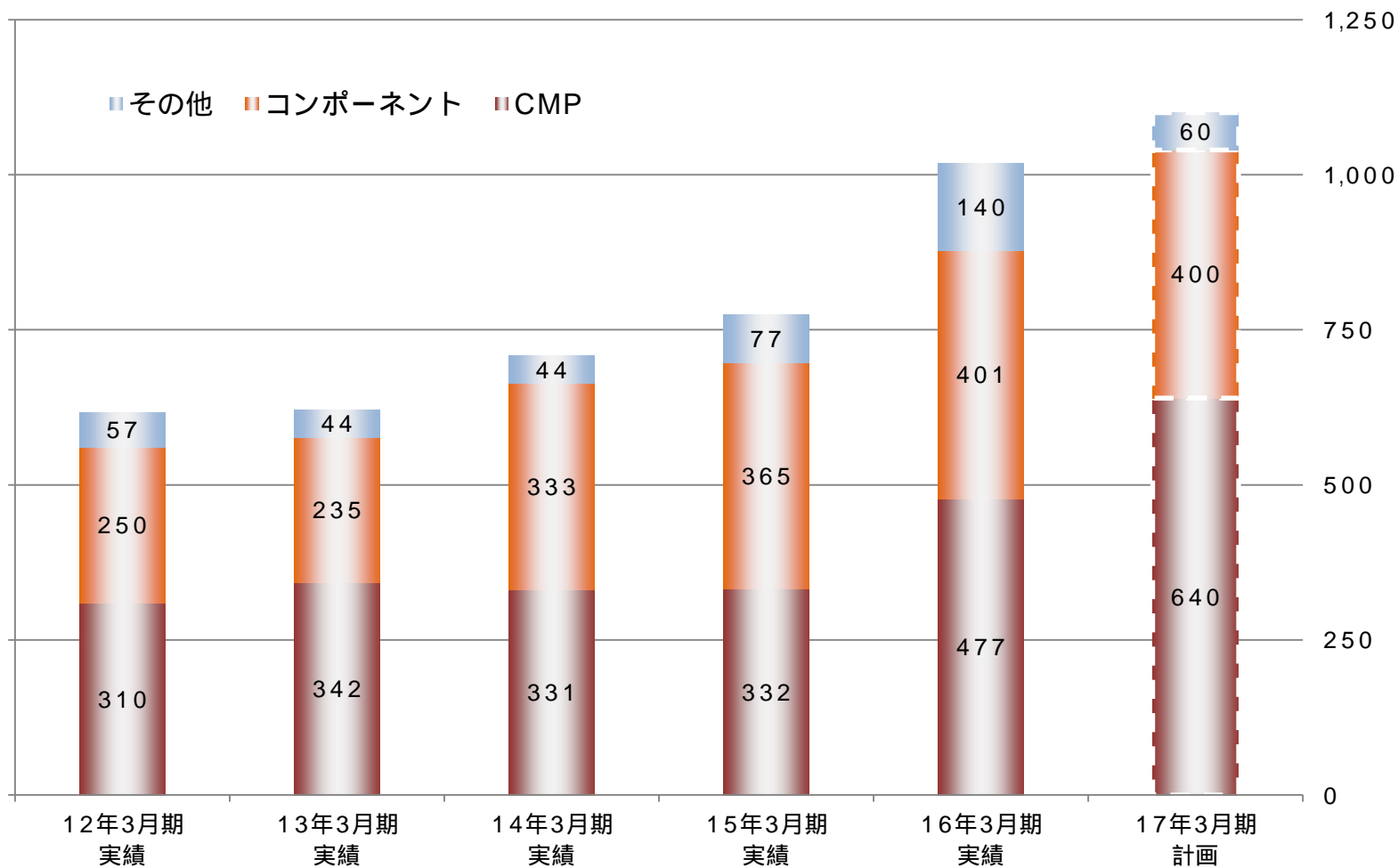
## 2. 今期の見通し

# 精密・電子事業をとりまく環境について

2016年3月期から、精密・電子事業の受注高はCMPを中心に大きく増加中

(図)精密・電子事業 サブセグメント別の受注高の推移

(単位：億円)



## 2. 今期の見通し

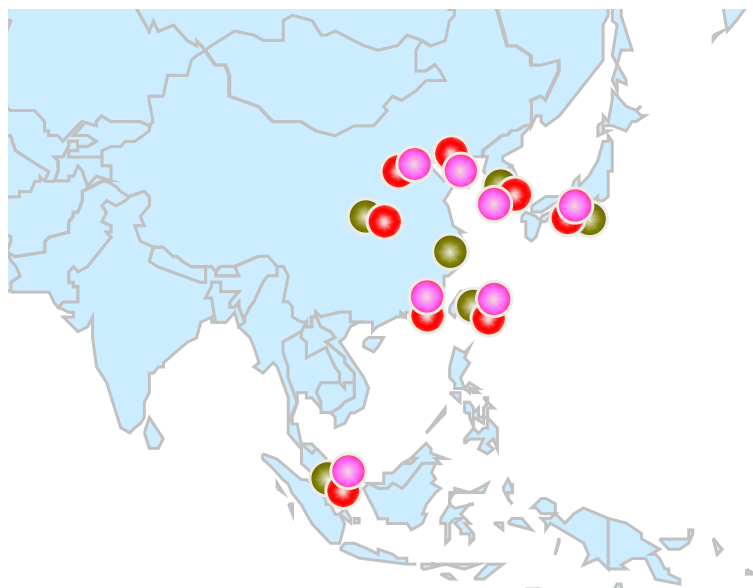
# 精密・電子事業をとりまく環境について

精密・電子事業が好調な理由：

1、顧客の設備投資が活発

アジアを中心に来年も投資は続く見込み

(図)アジアの主要半導体ファブ(建設予定含む、当社調べ)



- 投資済みのファブ
- 現在投資中のファブ
- 今後投資が予定されているファブ

## 2. 今期の見通し

# 精密・電子事業をとりまく環境について

精密・電子事業が好調な理由：

2、半導体加工技術が更に複雑に 当社の製品・技術が顧客の事業拡大をサポート

NANDメモリ：平面構造から立体構造へシフト（3D NAND）

ロジック：トランジスタ形成の工程で更に精密な加工寸法管理が必要



### CMP装置

メモリ・ロジックの両方で精密な加工寸法管理の  
カギとなる工程のひとつ

さらなる需要増が期待できる



### ドライ真空ポンプ・排ガス処理装置

最先端の製造工程における真空環境と  
排ガス処理技術を提供

様々な製品開発プロセスに対応できる

## 2. 今期の見通し

# 精密・電子事業をとりまく環境について

熊本工場の増設工事は2016年11月の竣工に向けて順調に進捗

完成予定図



現在の工事の様子（2016年10月18日撮影）



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。